

授業科目 精神障害作業療法学演習

【担当教員名】 桐本 光		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 精神障害作業療法評価学や精神障害作業療法学で学習した知識を実践的に臨床の場で応用するための思考方法や技術を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害領域の作業療法における代表的な評価方法について列挙し、その特徴・実施過程・留意点を説明できる。 2. 精神障害領域の作業療法における代表的な介入方法について列挙し、その特徴・実施過程・留意点を説明できる。 3. 具体的な事例を ICF の枠組みで整理し、具体的な作業療法計画を立案することができる。 4. 作業療法計画立案にあたって、教員や他学生らと共に積極的に建設的な議論をすることができる。 5. 総合臨床実習への参加にふさわしい知識、態度、技術を習得することができる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1,2 3-14 15	授業オリエンテーション、精神障害領域の作業療法に関する知識レビュー 事例検討・プログラム立案 まとめ			1, 2, 5 3, 4, 5 5	講義 演習 講義
【使用図書】	<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他> 教科書 (必ず購入する書籍) 生活を支援する 精神障害作業療法 香山明美、小林正義、鶴見隆彦 編著 医歯薬出版 2007・3,800円＋税 法 ー急性期から地域実践までー 参考書 その他の資料				
【評価方法】 出席、参加態度、グループワークによる事例報告書、最終個人レポート	【履修上の留意点】 集中講義形式で行う。				